

1 単元名 「伝え方を考えよう——新聞の読み比べを通して——」

2 単元の目標

- 新聞の構成を知り、記事の内容を読み取ることができる。 (知識・技能)
- 各種新聞社の記事を読み比べ、その表現の特徴や、伝えたいことを読み取ることができる。また、読み比べて気づいたことをクラスメイトに伝えることができる。 (思考力・判断力・表現力)
- 伝え方の違いによる読み取りの変化が日常でのコミュニケーションにも密接に関連していることを意識し、積極的に活用しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、主要新聞社の同日の朝刊を教材として用いる。各種新聞社の記事の優先度・扱い方・伝え方の異なる部分がある。それら見比べ、同一の出来事であってもそれぞれの視点によって伝え方・扱い方に差が出る部分と、各社においても差が出ない部分とを考えることで物事を伝える際に工夫すべき点を身近に考えることができる。加えて、分析したことや考えたことを言語化し共有することで、各生徒の気づきを共有し学びを深めるとともに言語能力の向上を図ることができる。

また、考えたことを活かして学校行事についての記事を執筆する。実際に考えや学びをアウトプットすることで定着を図るとともに、本単元での学習は、自らの日常生活での活動においても通底していることを実感させたい。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、これまでに国語科や総合的な学習の時間において様々なグループワークを体験してきている。それらを通してクラスメイトと協力して作業を進める力を付けている。グループワークへの意欲も高い。一方で、学習している事柄を自分事化することを苦手としている。加えて、文章の要約を行うことを苦手としている生徒が多い。これらのことから、本実践は生徒の言語能力を養い ESD 的な視野を育むことに資すると考える。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、各種新聞社の〇〇日の朝刊を配布する。班ごとに、各種

新聞社の一面の記事の差を比較していく。このことを通して新聞社によってニュースの取り上げ方に差があることを意識させる。

次に、共通して登場する記事の一つピックアップし、その内容を吟味していく。各社で共通する部分と異なる部分を明らかにし、その伝え方の差を考える。この際に、各社の記事を短くまとめることで、要点を押さえつつ、各社の工夫を洗い出させる。その後、各班で考えたことをクラス全体に共有する。同一の出来事であっても報道の仕方には差が出ることを、それによって読み手側の印象も変わっていくことを意識させる。

最後に、この単元を通して学んだことを意識しながら学校行事についての新聞記事を執筆する。行事に対して好意的か、批判的かを予め決め、それに則って文章を考える。記事を書く目的に応じて出来事の切り取り方、伝え方が変わることを意識させたい。

#### (4) ESD との関連

##### ・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

多様性…同一の事柄であっても、人によって捉え方・考え方が異なるということ。

相互性…情報を得る際にも発信する際にも何かしらの意志が介在し、それは自らにとってもどちらの立場としても関わることがあるということ。

責任性…誰しものが情報発信者となり得る現代社会においては、そのことを意識し、発信の仕方について考える必要があるということ。

##### ・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

###### 批判的に考える力

大手メディアにおいても、その情報を鵜呑みにせず、メディアごとの伝え方の違いなどを吟味する。

###### 多面的・総合的に考える力

自らが触れる情報、または自らが発信する情報は、それに触れる存在の立場や考え方によって様々に解釈され得るし、様々に組み替えられることを理解する。

###### コミュニケーションを行う能力

意見や感想を他者に適切に伝え、他者の意見も尊重しながら話し合いをする。

###### 進んで参加する態度

情報を読み取るため、また伝えるためにはどのようなことに着目する必要があるかを考え、主体的に取り組みに参加する。

##### ・本学習で変容を促す ESD の価値観

###### 世代間の公正

世の中の事象が将来、過去いずれの世代においても関連し、一義的な解釈ではそれぞれを尊重できない。

## 世代内の公正

家庭、学校、民族、国家といったそれぞれの枠組みに囚われず、広い視野で自らや世界について認識し、行動していくことが大切である。

### ・達成が期待される SDGs

目標 4 質の高い教育をみんなに

目標 10 人や国の不平等をなくそう

## 4 単元の評価基準

(ア)知識・技能	(イ)思考力・判断力・表現力	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
① 新聞記事を読み、その伝えたいことを理解することができる。 ② 新しく触れる語彙や表現についてその意味を調べて理解することができる。	① 新聞に掲載されている記事について要点を押さえ簡潔にまとめることができる。 ② 各新聞社の工夫や伝え方の違いについて考え、他者に伝えることができる。	① 自らも情報の発信者となり得ることを理解し、自分事として取り組むことができる。 ② 授業を通して考えたことを自らの活動に活用しようとしている。

## 5 単元の指導計画（全5時間）

学習活動	○学習の支援	○評価・備考
1 各社の新聞一面を読み、取り上げられているニュースについてホワイトボードにまとめる。 ・新聞社によって一面の構成が違う。 ・コラムがあったり目を引く構成になっている。	○ 新聞独特のレイアウト触れ、スムーズに読み進めることができるようにする。 また、難しい語彙に関して理解できるようにジャパンナレッジの活用を促す。	ア①② イ①

<p>2 共通する記事の一つ取り上げ、その記事に関する各社の伝え方の違いについて考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞社によっては、インタビューを使っている、工夫している。</li> <li>・新聞によって他が伝えていることを伝えていなかったりする。</li> </ul>	<p>○ 共通する部分とそうでない部分に分け比較していくように促す。共通していない部分についてどのような特徴があるか考えさせる。</p>	<p>イ② ウ①</p>
<p>3,4 好意的、批判的の立場に予め分かれ、それに則って学校行事を伝える記事を書く。</p>	<p>○ 前時で考えたことを活用するように指導する。</p>	<p>ウ②</p>
<p>5 それぞれの記事を読み合い、違いや工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出来事に注目するところが違う。</li> <li>・伝え方の違いで受け取り手の印象が変わる。</li> </ul>	<p>○ それぞれの立場が反映された記事になっているか考えさせる。</p>	<p>イ② ウ②</p>